

2016年ノーベル生理学・医学賞受賞



# 大隅良典先生特別講演会

自然科学研究機構の最新研究紹介 **基礎科学講演会**

愛知県と自然科学研究機構 岡崎3研究所 との

連携協定締結式



愛知県と自然科学研究機構 岡崎3研究所（基礎生物学研究所・生理学研究所・分子科学研究所）は、基礎科学における人材の育成、研究成果の普及などの取組を連携して行うため、連携協定を締結することになりました。

この連携協定の締結式と、2016年にノーベル生理学・医学賞を受賞された大隅良典先生の特別講演会及び、自然科学研究機構 岡崎3研究所の研究者による基礎科学講演会を開催します。

『大隅良典先生ノーベル賞  
メダル公式レプリカ』  
を会場内にて展示

**日時** 2022年12月25日（日）14:30～16:45

**場所** あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室  
（名古屋市科学館生命館地下2階「サイエンスホール」）

**定員** 100名程度（申込先着順）  
※参加いただく方には御案内メールをお送りします。

**応募対象** 小学校高学年以上

**応募期間** 2022年12月2日（金）から2022年12月21日（水）正午まで  
※申込先着順のため、応募期間内に定員に達した場合は受付を締め切ります。  
また、受付終了時には申込サイト上にてお知らせします。

**応募方法** 県Webページ「あいち電子申請・届出システム」へ下記URL又は二次元コードからアクセスし、お申込みください。

※必要事項：氏名、年代、電話番号、Eメール

URL:[https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/offerList\\_detail.action?tempSeq=62275](https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=62275)



## スケジュール

14:00	開場
14:30～14:45	連携協定締結式
14:45～15:00	休憩
15:00～16:00	大隅良典先生特別講演会 テーマ「科学の大切さと研究の楽しさ」
16:00～16:45	基礎科学講演会 自然科学研究機構 岡崎3研究所 の研究者による最新研究の紹介

**参加費 無料**

ただし、科学館への入館には所定の観覧料が必要です。

**主催**

愛知県、大学共同利用機関法人自然科学研究機構 基礎生物学研究所・生理学研究所・分子科学研究所  
あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室運営協議会

**問合せ先**

愛知県経済産業局産業部産業科学技術課科学技術グループ  
電話番号 052-954-6351

## 特別講演会

公益財団法人

大隅基礎科学創成財団 理事長 大隅 良典氏



東京工業大学 栄誉教授

基礎生物学研究所 名誉教授、自然科学研究機構 特別栄誉教授

### 科学の大切さと研究の楽しさ

「流行ではなく面白いことを」との思いで進められ、ノーベル賞受賞につながった基礎生物学研究所（愛知県岡崎市）でのオートファジーの研究。

短期間での見返りを求める近年の科学研究の風潮とは裏腹に、一見何の役に立つのか分からない研究から自然科学上の多くのパラダイムシフトが引き起こされてきました。

この特別講演会では、大隅先生から、知的好奇心に突き動かされ顕微鏡で酵母を見続けたことで得られた新たな発見と、それに基づく地道な研究活動、世界で初めてオートファジーを観察した瞬間の感激、さらには基礎科学の大切さなどをお話いただきます。

## 基礎科学講演会



自然科学研究機構

基礎生物学研究所 教授 新美 輝幸氏

### カブトムシのツノ作りのなぞにせまる



生命誕生以来の長い歴史の中で様々な環境に適応した多種多様な生物たち。しかし、非モデル生物の興味深い生命現象の多くは、解析がほとんど進んでいません。ここでは、基礎生物学研究所で進められているカブトムシをモデルとした角形成の研究について紹介します。



自然科学研究機構

生理学研究所 教授 竹村 浩昌氏

### MRIで分かる脳の情報伝達経路



私たちヒトの脳には、たくさんの役割が異なる場所があります。近年、脳の場所どうしを結ぶ線維の束を生きているヒトの脳から測ることができるようになってきました。今回の発表では、生理学研究所で進められているヒトの脳を対象とした最新の研究について紹介します。



自然科学研究機構

分子科学研究所 教授 岡本 裕巳氏

### 「ねじれた光」で見る鏡写しの世界



右手と左手は鏡写しの関係にありますが、私達の体を作る多くの分子や、身の回りの物質でも、右向きと左向きの区別があります。光にも右円偏光と左円偏光という、ねじれた性質を持つ光があり、この二つは鏡写しの関係になります。ねじれた光を使って右向きと左向きの物質を作り出したり、区別して観察する研究について紹介します。